



## 色彩館に咲く

### フイリヒサカキ

*Eurya japonica* cv.

モッコク科ヒサカキ属

原産地：日本、朝鮮南部、台湾、中国



### 涼しげな斑入り葉が魅力

基本種のヒサカキ (*Eurya japonica* Thunb.) は本州(岩手、秋田以南)、四国、九州、南西諸島、小笠原、朝鮮半島南部、台湾、中国に分布する高木または低木で、照り葉が美しく、花はあまり目立ちませんがクリーム色で3~4月に開花します。花後には小さく紫黒色の実をつけ、これは染料に使うことができます。萌芽力が強く、刈り込みに耐え、日陰地でもよく育つので生垣や植え込みに適しています。サカキと同様に神前に供えられたりもするそうです。和名は「姫サカキ」が訛ったものとされていて、サカキよりも小型であることに由来しています。本種は美しい散り斑が入る園芸品種で、葉張りは1~2m、樹高は2mほどになりますが、刈り込みに耐えるので剪定で高さを抑えることもできます。当園では白い散り斑が美しい「残雪(ざんせつ)」、くっきりとした黄色の斑入り葉が美しい「イエローモトル」、濃い緑色に白とやわらかい黄色、新芽に赤がさす「トリカラー」

を栽培しています。かっちりとした照り葉がどれも大変美しく、個人的には残雪が一番好きです。葉はさすがに基本種のように神前にお供えすることには向きませんが、切り葉にしてフラワーアレンジメントにも使いやすいですし、乾燥してもあまりバラバラと散らずに色もきれいに残るのでリースなどにしてドライフラワーも楽しめます。栽培は腐植を多く含む肥沃土で半日陰地に適します。増殖は挿し木か実生で、挿し木は新梢挿しで7~9月に行うのが良いでしょう。根つきは比較的によく移植も容易です。北海道では屋外での栽培は難しいですが、鉢植えで管理すれば栽培することができます。夏場は半日陰の屋外に置くと涼しげで素敵です。乾燥には弱いので冬季間は暖房などが入らない部屋が凍らない程度の玄関などで越冬させましょう。肥料は春に油かすなどを少量与えます。色彩館では大温室で見ることができます。是非涼を感じにいらしてください。

# ばら園



暑さが厳しくなる8月はバラもグッタリ。弱い品種は黒星病で枝に葉がなくなっているものもあるでしょう。この時期にバラ園を巡ると、品種の強さの差がよく出ているので品種選びの参考になりますよ。この時期は、秋花を確実に楽しむために2番花を見極めて、たとえ蕾があってもいつもの花がら切りの要領でハサミを入れる作業を行います。大輪系の場合、9月の下旬頃に開花させるには8月中旬頃をリミットとします。また、お盆を過ぎたら耐寒性を高めるために速効性のカリ肥料を与えます。露地植えの場合は硫酸カリなどを1回につき1株あたり5g程度を与えて、1週間か10日後もう一度5g程度与えます。1株あたり総量で10g程度までということを守りましょう。施肥は暑さが落ち着く8月中旬から9月下旬の間に行います。鉢植えの場合は、微粉ハイポネックス(500倍液)などの液肥を週に1回を2~3回与えます。さあ、あとは秋花を楽しみに待ちましょう。



今月の便り

## バラ園



花がら摘みに追われる日々も少し落ち着き、次は秋花に向けた作業を行っていきます。また、ようやくテストガーデンの整備も取りかかれそうです。

## 花と緑の供給センター

秋植えパンジー・ビオラの鉢上げ作業と並行して、ベゴニアやペラルゴニウム、カラミンタなど、園内で使う植物の挿し木作業を行っています。

## 色彩館

大温室の一年草花壇が涼しげな青花が茂ってきました。夏場だけ外で栽培しているミカンの木は春からの肥料と日光のおかげでようやく葉色が戻りました。

## ケロケロ。

夜になると近くの田んぼや草むらからカエルの合唱が聞こえてきます。耳触りの良い夜の音楽です。個人としては、つぶらな瞳が愛らしく感じるのですが、苦手な方ももちろんいる事でしょう。

カエルはハエやガ等を食料とすることから、益虫にカテゴライズされます。バッタやアオムシも食べるので、農家さんにとっても有益です。またカエルは体の色を変化させ、その場所に同化します。草むらでは緑、土や枯れ草では茶色へとまるで忍者のようです。何年か前に1度だけ、青いカエルを見つけたことがあります。突然変異で黄色の色素を持たない固体だったようです。幸せの青い鳥ならぬ、幸せの青いカエルだったのかもしれませんが。

よしなしごと

Miz

## カエルの話

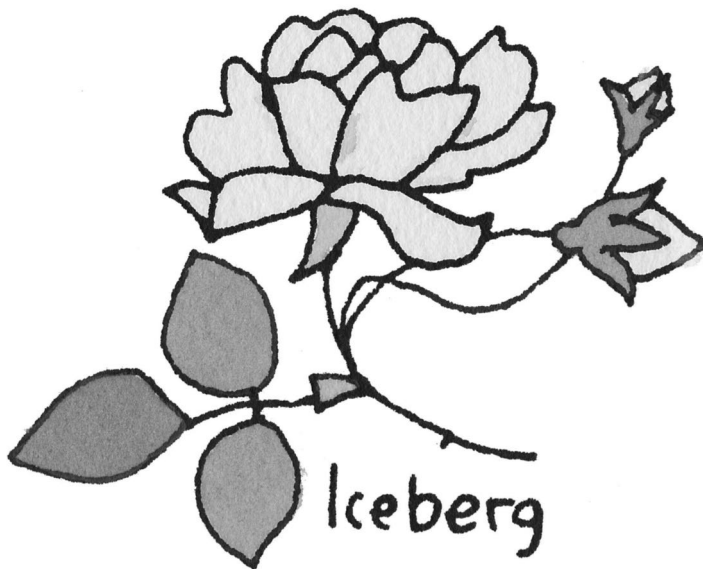


# ひとつき ひとバラ



文：新堂大樹  
(いわみざわ公園バラ園)

イラスト：藤川志朗  
(イラストレーター)



## 第十七回

フロリバンダローズ

### アイスバーグ

Iceberg

作出国：ドイツ

作出者：Kordes

作出年：1958年

ハーディネスゾーン：Z4

繰り返し咲き性

交配：Robin Hood (HMSk) × Virgo (HT)

多花性で、純白の八重平咲き中輪咲きの花を繰り返し大きな房状に咲かせるとも気品のあるバラです。高さは約1.2mほどになり、やや横張り気味に育ちますが、枝はしなやかでトゲがほとんど無くて扱いやすく、育てやすい品種です。耐寒性、連続開花性に優れていて、病気に必ずなりますが、負けずによく咲く強いバラです。作出年にイギリスバラ協会金賞とバーデンバーデン金賞、耐寒、強健性に優れたバラに送られるADR賞を1955年に受賞されています。また、1983年にはバラの殿堂入りをし、WFRS賞も受賞しました。この受賞暦の数から、このアイスバーグはとても人気で育てやすいということがよくわかりますよね。

別名が2つあり、ひとつはシュネービツェンと呼ばれ、ドイツ語で「白雪姫」という意味です。もうひとつは、フェ・デ・ネージュでフランス語で「雪の妖精」という意味になります。細枝で、純白の花でその花容から、このような名前がつけられたのでしょうか。また、アイス

バーグの意味は氷山で、北海道に合った涼しげな名前ですね。このアイスバーグを元にした、「ピンク・アイスバーグ」「バーガンディ・アイスバーグ」などの枝変わりの品種もあり、つるの性質をもった、つるアイスバーグもあります。バーガンディ・アイスバーグのバーガンディとはフランスのブルゴーニュワインの赤を意味し、少し紫に近いワインレッド色です。つる性のアイスバーグは返り咲きですが、枝がしなやかで誘引がしやすく、元のアイスバーグと変わらない程の強健さです。当園ではアイスバーグは栽培しているものの、他の枝変わりの品種はないので、つる性のアイスバーグなどには魅力を感じてしまいます。みんなから愛されていることからまさに愛スバーグ、ですね。

当園のアイスバーグは、一番花は少しずつ終わりにかけているものの、次の二番花の芽も出てきているので、一番花の一斉開花のような豪華さはありませんが、一輪一輪のアイスバーグの美しさを是非、見に来てください。

第2回

# いわみざわ公園バラ園 写真展📷作品募集！



**募集期間：8月1日(土)～8月16日(日)**

**発表：8月29日(土) いわみざわ公園バラ園色彩館にて**

いわみざわ公園バラ園にて撮影されたバラの写真を募集します！  
皆様のとっておきの1枚を応募してみませんか？  
優秀作品は1年間色彩館にて展示されます。  
たくさんのご応募をお待ちしています！

詳しい応募要項についてはHPか色彩館にお問い合わせください。

## 8月の市民園芸講座のご案内



- 8月2日(日) 13:00~15:00 植物のからだ大解剖！親子でおもしろ実験講座  
有料：300円 定員：20名 講師：森 志郎さん 酪農学園大学
- 8月15日(土) 10:00~12:00 ばらゼミ⑥最高の秋花を楽しむために  
無料 定員：40名 講師：工藤 敏博さん ローズグロワー
- 8月16日(日) 13:00~15:00 折りバラを楽しもう 初級  
無料 定員：15名 講師：バラ園スタッフ
- 8月22日(土) 13:00~15:00 さし木の今昔  
無料 定員：40名 講師：錦織 正智さん 道立総合研究機構林業試験場 生産技術主査
- 8月23日(日) 13:00~15:00 芝生管理のポイント  
無料 定員：40名 講師：武石 隆夫さん NPO法人 みどりのオアシス・サポートクラブ
- 9月20日(日) 13:00~15:00 楽しいキノコの見分け方  
無料 定員：40名 講師：伊達 佐重さん 自然保護協会委員

編集・発行 空知リゾートシティ株式会社(いわみざわ公園バラ園指定管理者)  
お問い合わせ いわみざわ公園バラ園 室内公園「色彩館」 0126-25-6111